

もう迷わない！！

0852-60-0400

きずな



まつえ障がい者サポートステーション絆（サポート絆）では、障がいのある方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていけるように、障がい者の立場に立った支援をしています。

「共同生活援助事業所（GH：グループホーム）と
相談支援事業所との意見交換会」を開催しました

（平成28年11月22日開催）



双方の支援者の本音の意見が聞かれました！

【あったらいいな(^_^)♪】

- ① 「GHから出て生活したい」と希望する人が、地域で新しい生活に進めるサポートの仕組みが欲しい
- ② GHの職員になる人をもっと増やしたい
- ③ 新しい形のGHがあったらいい♪ 空き家を利用してGHにする・サテライト型のGH など



【まとめ】

GHでは、幅広い年齢層、障がいもそれぞれの方々が、共同で生活をされています。そこで働く職員さんは、入居者の方々の生活の支援だけではなく、生活のあらゆる相談に乗っておられます。相談支援事業所、GH職員共に、入居者の方々が『将来の目標に近づけるようにサポートしていきたい！』という熱い思いがあることも確認できました。双方が連携をしていくことで、より良い支援に繋がればと思いました。

学びの時間

9月

「障がい者の高齢化に向けた支援
～介護保険移行について～」

講師：訪問看護ステーション Relisa 東 美奈子氏

『参加者の声』



・65 歳になる前から、相談員とケアマネが連携して
いくことが大切だと分かった。

10月

「安心して地域で暮らすために」

講師：社会福祉法人ふあっと 矢田 朱美氏

『参加者の声』



・官民共同が地域づくりにはとても重要になることを
改めて感じた。

11月

「難病・重度障がい者のコミュニケーション支援
～生きたいを支援する～」

講師：島根大学総合理工学研究所 助教 伊藤 史人氏

『参加者の声』



・意志表出困難で何もできないと思われている状態でも最新機器利用でその世界は広がる！
・「できないのではない！その人の限界を支援者や医療が決めてはいけない。」の言葉が印象に残った。

12月

「働きたいを支援する
～IPSから始まる一人一人の可能性～」

講師：社会医療法人清和会西川病院 林 輝男氏

『参加者の声』



・【訓練→就職】ではなく【就職→訓練】という考え方が印象に残った。

『THE NET 網に囚われた男』

世界三大映画祭を制した巨匠キム・ギドクが挑む社会派ヒューマン・ドラマ

【あらすじ】北朝鮮の漁師ナム・チョルは、いつものようにモーターボートで漁に出るが、魚網がエンジンに絡まりボートが故障。意に反して韓国に流されてしまう。韓国の警察に拘束されたチョルは、身に覚えのないスパイ容疑で、情け容赦ない取り調べを受ける。加えて、ひたすら妻子の元に帰りたい一心の彼に、執拗に持ちかけられる韓国への亡命。しかも、ようやく北に戻された彼を待ち受けていたのは、より苛酷な運命だった・・・（ファインカット韓国：2016）

ビ・フレンドング森協のお勧め映画

「経済発展が必ずしも幸せとは限らない！！」
幸せはそれぞれ違う ということを感じる。

<福祉・医療・教育関係者向け研修ご案内>

【公開講座】

次回：2/22（水）障がい者当事者フォーラム

場所：松江市総合福祉センター 4階大ホール

13：30開始

サポート絆と相談支援事業所(輪番制)はココ

相談支援事業所名	専門分野	相談支援事業所名	専門分野
1 あすのひかり	知的	10 ビ・フレンドング	精神
2 厚生センター	身体・高次脳	11 ひまわり	知的・児
3 さくらの家	知的	12 まがたま	知的
4 しののめ	知的	13 みよりの家	知的・児
5 ジョイ	身体	14 やましろ	児
6 そうゆう	精神	15 山の花	身体
7 東部島根医療福祉センター	児・重症心身障害児・者	16 よもぎ	精神
8 ねくすと	知的	17 わこう	知的
9 ねっとわーくしのめ	知的・視覚	18 松江市社会福祉協議会	知的



サポート絆は松江市総合福祉センターの3階にあります

※市内の他の事業所については松江市ホームページをご覧ください

まつえ障がい者サポートステーション絆
所在地
〒690-0852 松江市千鳥町 70
(松江市社会福祉協議会内)
TEL 0852-60-0400
FAX 0852-21-4001
E-mail: s-kizuna@web-sanin.co.jp
HP http://www.shakyou-matsue.jp
開所日 月～金曜日
開所時間 9:00～17:00
(土、日、祝日、年末年始を除く)

紙面を飾る挿絵を募集します。
お気軽にメール等でお問い合わせください。

募集！

編集後記
(事務局 数野)
最初の紙作成は年が明けての事
業を振り返りながら作業をする
中で、いろいろなことを経験
させていただきました。なんと実感
しました。機関紙から、輪番の
相談支援事業所担当コーナー
を設けました。今回お願
た森脇さんとは、「どんなこと
を書くんですか？」といつも
とは少し違いますが、楽し
た。これは話を楽しみで見
員さんの意外な一面が発見
ます。のながと楽しみにして